

別紙 審査基準

評価項目	着眼点	評点	配点	
地域の概要・実施主体に関する評価	地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題や資源が事業と明確に結びついているか。 ・事業実施の必要性・緊急性が地域特性から説明されているか。 	<p>5: 地域課題が明確で、事業との結びつきが<u>極めて強く</u>、解決への寄与度も高い。</p> <p>4: 地域課題への理解が深く、事業が<u>課題解決に大きく貢献</u>する可能性が高い。</p> <p>3: 関連性は理解できるが、課題の緊急性や資源の活用が<u>標準的</u>である。</p> <p>2: 地域課題の分析が不十分で、事業の<u>必要性・貢献度が不明確</u>である。</p> <p>1: 地域課題の分析が曖昧で、<u>地域の特性やニーズに合致していない</u>。</p>	5点
	実施主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業遂行能力（実績、専門性、体制）があるか。団体の活動目的と本事業との一貫性があるか。 	<p>5: 確かな<u>実績と専門性</u>があり、実行体制に<u>十分な信頼性</u>がある。</p> <p>4: 体制は整っており、<u>類似事業経験</u>から実行能力は高いと見込める。</p> <p>3: 体制は整っているが、<u>特筆すべき実績や専門性</u>には欠ける。</p> <p>2: 体制図や役割分担の説明が不十分で、<u>事業遂行能力に懸念</u>が残る。</p> <p>1: 実績に乏しく、<u>リソースや役割分担が不明確</u>で実行性が低い。</p>	5点
	申請額／総事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・申請額、総事業費は適正かつ妥当か。 ・費用対効果（コストパフォーマンス）が見込めるか。 	<p>5: 見積もりが詳細で<u>妥当性が極めて高く</u>、高い<u>費用対効果</u>が見込める。</p> <p>4: 費用対効果は高いが、<u>一部費目の積算根拠</u>について更なる説明が望ましい。</p> <p>3: 費用の妥当性は概ね認められるが、<u>一部積算根拠の説明が不十分</u>である。</p> <p>2: 費用対効果の検証が弱く、<u>高額費用の妥当性</u>に疑問がある。</p> <p>1: <u>積算根拠が不明瞭</u>な費目が多く、効率的な運用が期待できない。</p>	5点
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・目的が具体的かつ明確か。 ・公的資金を投じるに値する公益性・社会貢献性が高いか。 	<p>5: 目的が<u>具体的で計測可能</u>であり、<u>極めて高い公益性</u>がある。</p> <p>4: 目的是明確で公益性も高いが、<u>定量的指標（KPI）の設定</u>がやや弱い。</p> <p>3: 目的是理解できるが<u>やや抽象的</u>で、目標達成度が測れる指標が弱い。</p> <p>2: 目的が広範囲に及びすぎ、<u>事業の焦点が定まらない</u>。</p> <p>1: 目的が<u>漠然としすぎて</u>おり、事業完了後の成果が不明である。</p>	5点

評価項目	着眼点	評点	配点
事業の評価 (波及効果・革新)	内容	<p>・活動計画の具体性・実現可能性があるか。</p> <p>・目的達成のための手段として適切か。</p> <p>5:スケジュールとタスクが<u>詳細で実行可能</u>であり、目的達成への<u>最適な手段</u>である。</p> <p>4:計画は具体的で実現可能性も高いが、<u>リスク管理や対応策</u>が未記載である。</p> <p>3:計画は概ね実現可能だが、<u>重要なプロセスや手順</u>の説明がやや不足している。</p> <p>2:活動内容の説明が不十分で、<u>目的達成の手段として適切か疑問</u>が残る。</p> <p>1:計画に<u>不確実性が高い</u>。プロセス不足で主要な目標達成が困難と見込まれる。</p>	5点
	PRポイント	<p>・事業の魅力や独自性が伝わるか。</p> <p>・審査員に響くメッセージか。</p> <p>5:地域の特色を<u>ユニークな切り口</u>でPRしており、<u>高い話題性</u>が期待できる。</p> <p>4:PRポイントは具体的で訴求力も高いが、<u>競合との差別化</u>がやや弱い。</p> <p>3:PRポイントはあるが、<u>他の類似事業との差別化</u>要因が弱くインパクトに欠ける。</p> <p>2:PRポイントが曖昧で、<u>訴求力があるか疑問</u>が残る。</p> <p>1:PRポイントが<u>一般的</u>で、特筆すべき魅力やアピール力が弱い。</p>	5点
	効果	<p>・定量的・定性的な成果が期待できるか。</p> <p>5:<u>定量的指標が明確</u>で、地域外への<u>極めて大きな波及効果</u>が期待できる。</p> <p>4:期待効果は大きいが、<u>測定・検証する具体的な手法</u>の説明が弱い。</p> <p>3:期待効果は認められるが、成果が<u>定性的なものに偏り</u>、指標設定が弱い。</p> <p>2:期待効果の根拠が弱く、事業規模に対して<u>成果が限定的</u>となる可能性が高い。</p> <p>1:効果が<u>主観的</u>で、成果を<u>測定・検証する視点</u>が欠落している。</p>	5点

評価項目	着眼点	評点	配点
継続性・発展性	・地域外への波及効果が見込めるか。	5: <u>収益化モデルや企業連携</u> など、自立的な <u>継続プランが具体的で将来性が高い</u> 。 4:継続へのビジョンは明確だが、 <u>具体的な収益源や財務計画</u> の詳細説明が求められる。 3:継続意欲は示されているが、 <u>具体的な財源確保や発展の道筋が不明確</u> 。 2:継続の意思はあるが、 <u>収益性の見通しが立っておらず</u> 自立展開は困難と見込まれる。 1: <u>補助金頼みの計画</u> であり、事業終了後の <u>継続性が全く見込めない</u> 。	5点
モデル性	・他の地域や団体が参考にできる要素があるか。	5:課題解決手法が <u>体系化</u> され、 <u>汎用性の高いノウハウ</u> を生み出すモデル性が極めて高い。 4:課題解決の手法に優位性があり、一部の <u>地域や分野</u> へ横展開できる可能性が高い。 3:一部参考要素はあるが、 <u>地域特性への依存度が高く</u> 、横展開には課題がある。 2:成果は地域内で完結するものが主で、 <u>他地域への参考事例となるには不十分</u> である。 1:地域特性に強く依存しすぎており、 <u>他地域での応用が困難</u> である。	5点
新規性	・新規性があり、汎用性の高いノウハウを生み出すか。	5: <u>最新技術の活用</u> など、従来にない <u>独創的なアプローチ</u> で革新性が極めて高い。 4:既存課題に対する <u>着眼点がユニーク</u> で、新しい手法やサービスを取り入れている。 3:既存の手法を一部改良するなど、 <u>ある程度の工夫</u> は見られるが、突破口となるほどの新規性はない。 2:既存の事業や活動と <u>大差ない内容</u> で、革新的な要素がほとんど見当たらない。 1: <u>既存の活動の焼き直し</u> に過ぎず、新規性や革新性が全く感じられない。	5点

特別考慮すべき事項がある場合：最大2点加減